



〔山頂の日山神社〕 手前の鳥居は田沢の社のもの、中央が葛尾、そのかげに茂原の社がある。

に立てば、四辺は霧にかすみ、さえぎる物もない。ヤマツツジの茂みにかこまれた芝草の日溜りには数々の野草の花が咲き、不思議なほどに静かな雰囲気をつたよわせている。それは、ネジバナ、ウメバチソウ、ノコンギク、

ゲンノショウコ、ウツボグサ、ミヤコグサ、オヤマノリンドウ、カワラサイコなどである。周辺のヤマツツジの茂みの中には、ノリウツギ、ツルウメモドキ、リョウブ、アキグミ、ガマズミ、ツクバネウツギなども見られる。これらの野草や低木は、馬のいた時代にはもっと少なかったであろう。

日山神社は旭神社とも呼ばれ、その祭神は伊勢神宮の内宮（朝日の宮）の祭神天照大神の弟君にあたる素戔鳴尊であるといわれている。



頂上シバ草地のネジバナ